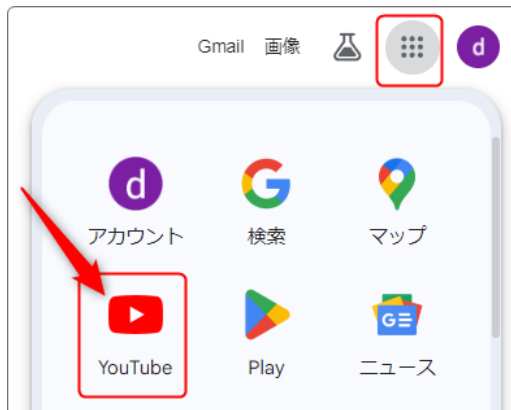


YouTubeの埋め込みコード取得方法

2024/06/03

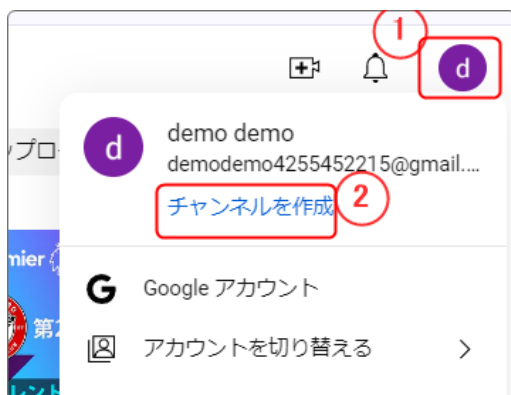
YouTubeにアカウントを作ってください、チャンネルを開設します。

【チャンネルの開設方法】



※並び順はそれぞれ異なります。

1. Gmail や <https://www.google.co.jp/> などを開き、画面右上のアカウント画像のとなりの Google アプリ一覧から YouTube を押下して開きます。



2. YouTubeが開いたら

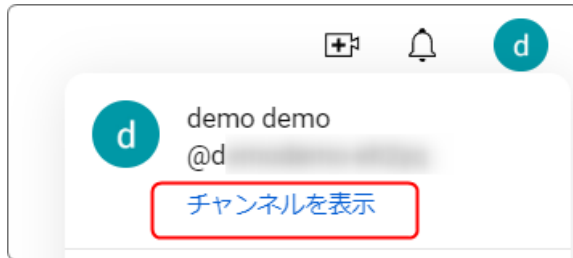
- ① 画面右上のアカウント画像を押下します。
- ② 「チャンネルを作成」を押下



3. プロフィールなど必要事項を入れたら（デフォルトのままでも可）「チャンネルを作成」を押下

チャンネルを作成中です。しばらくしてからもう一度ご確認ください。

上記表示が出たら、しばらく経ってから再度 YouTube を開いてください。



4. チャンネルができるとアイコンの色が変わります。

再度アイコンを押下すると「チャンネルを表示」が出ますので、これを押下します。

以上で YouTube に動画をアップする準備ができました。
次は実際に動画をアップする手順になります。

【動画のアップロード方法】



1. 「作成した動画」を押下すると動画をアップロードする画面が開きます。



コンテンツがありません

動画をアップロード

2. 「動画をアップロード」を押下してPCから動画をアップロードします。

動画がアップロードされると変換が始まり、同時にYouTube側のチェックも開始されます。

※ファイルサイズが大きい場合は、変換に時間がかかります。
時間に余裕をもって作業してください。

3. チェックが終了したら「次へ」を押下します。

Test

非公開として保存済み

詳細

動画の要素

チェック

公開設定

詳細

詳細を再利用

タイトル (必須) ?

Test

説明 ?

視聴者に向けて動画の内容を紹介 (@ を使用して、チャンネルをメンションできます)

サムネイル

動画の内容がわかる画像を選択するかアップロードします。視聴者の目を引くサムネイルにしましょう。 [詳細](#)

サムネイルをアップロード



再生リスト

再生リストに動画を追加して、視聴者のためにコンテンツを整理しましょう。 [詳細](#)

選択

動画リンク

<https://youtu.be/JiSZDh...Q>

ファイル名

Test.mp4

↑

HD

✓

HD までの動画を処理しています ... 残り 38 分

次へ

4. 「動画の要素」になりますが、特に必要なければそのまま「次へ」を押下します。

著作権など YouTube 側がチェックをし、問題なければ「次へ」に進みます。YouTube 側の作業の様子は画面左下に都度表示されます。

公開設定

動画の公開日時と、視聴できるユーザーを選択します。

☒ 保存または公開
動画は公開、限定公開、非公開のいずれかにします。

☐ 非公開
自分と自分が選択したユーザーのみが動画を視聴できます

☒ 限定公開
動画のリンクを知っているユーザーが動画を視聴できます

☐ 公開
全員が動画を視聴できます

☐ インスタントプレミア公開として設定する ?

公開設定は「**限定公開**」にして「保存」を押下します。

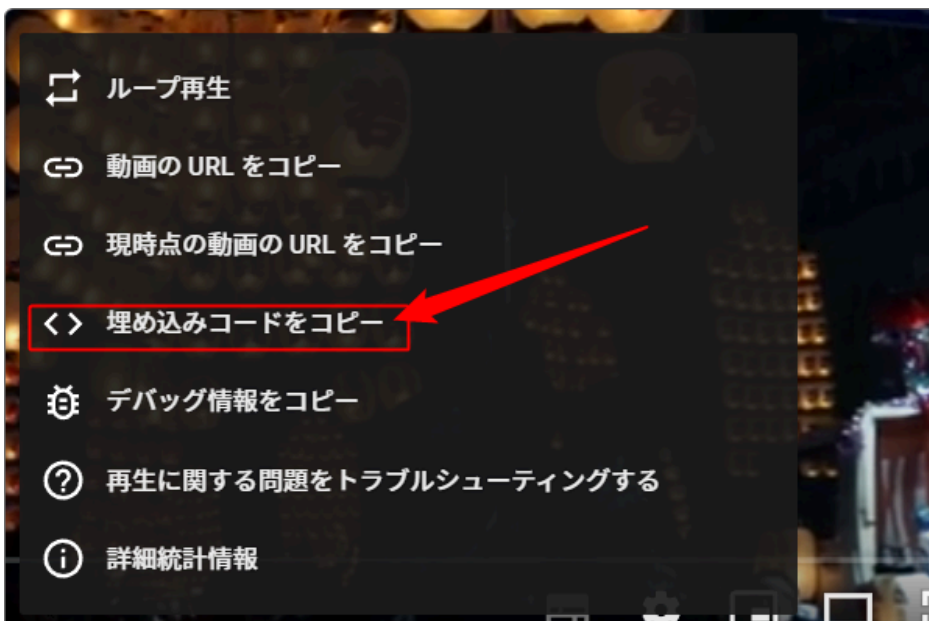
※これでサイト内で URLを知っている人のみが視聴できるようになります。

【動画をサイトに埋め込むには】

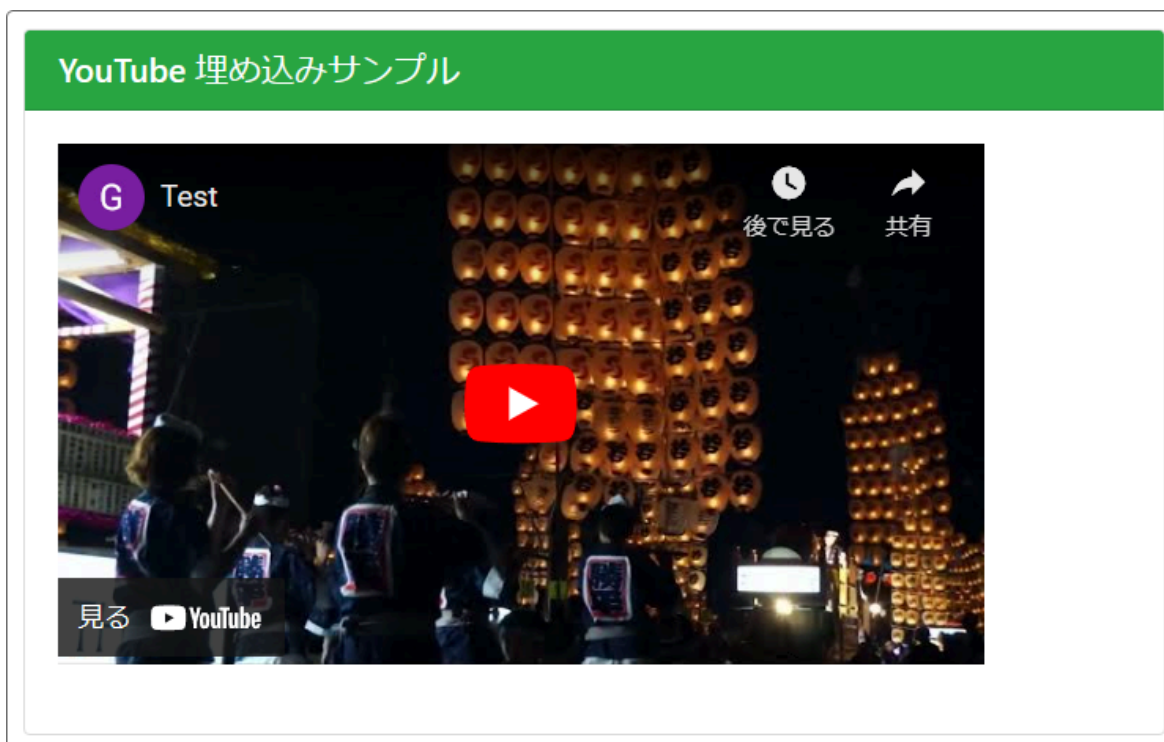
上記画面の赤枠部分が作成した動画のURLになります。
このURLをコピーして、別のタブで動画を開きます。



1. 動画の任意の箇所で右クリックして出てきた中から、「<> 埋め込みコードをコピー」をクリックします。これでコードのコピーを取得することができました。



2. 上記タグを固定記事をHTMLの編集モードにして貼り付ければ、サイトにYouTubeの動画を埋め込むことができます。



【YouTubeをレスポンスにするには】

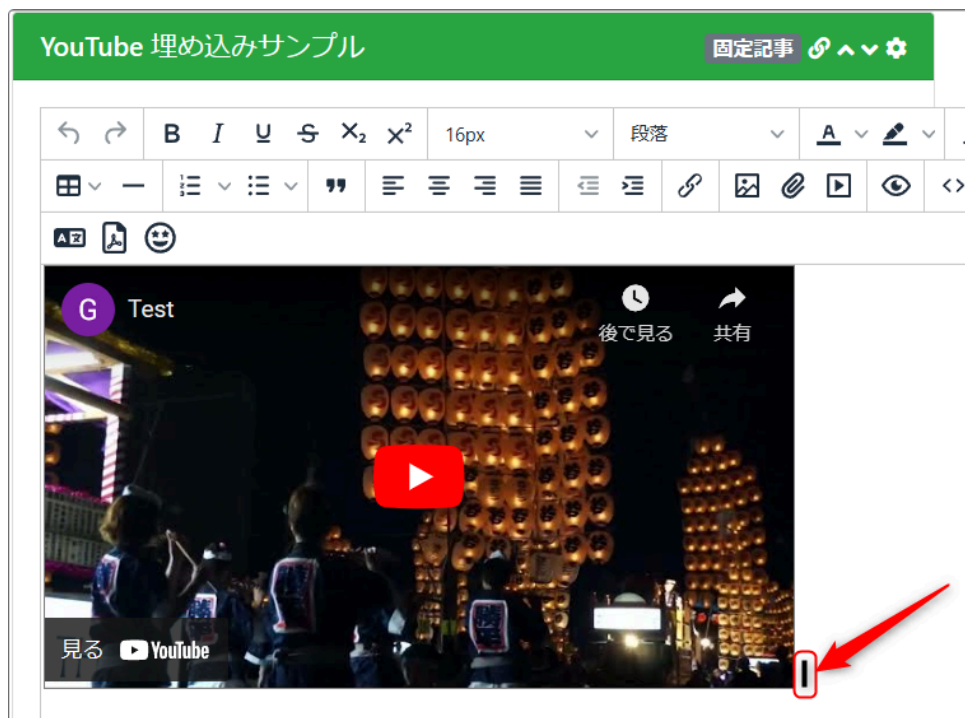
通常でしたら、上記タグをすべてコピーしてサイトに埋め込めばいいのですが、このままだと動画サイズが560×315ピクセルに固定されてしまいます。そのため、PC・タブレット・スマホでそれぞれ見たときにすべて同じ大きさに固定されてしまいます。

1. HTMLで動画を貼り付けたあと「段落」設定で変更する（推奨）

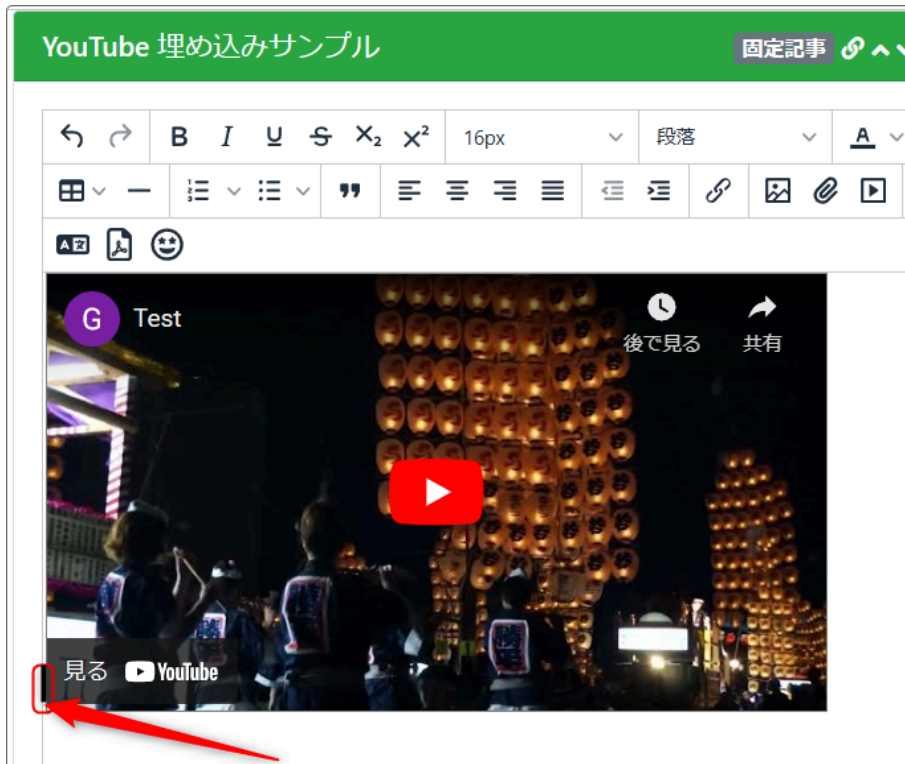
それぞれの媒体で大きさを自動的に制御できるようにする（レスポンスにする）ためには、以下の方法になります。

動画をHTML編集で埋め込むまでは【動画をサイトに埋め込むには】と同じ作業です。サイトに埋め込んだら、再度編集モードにします。

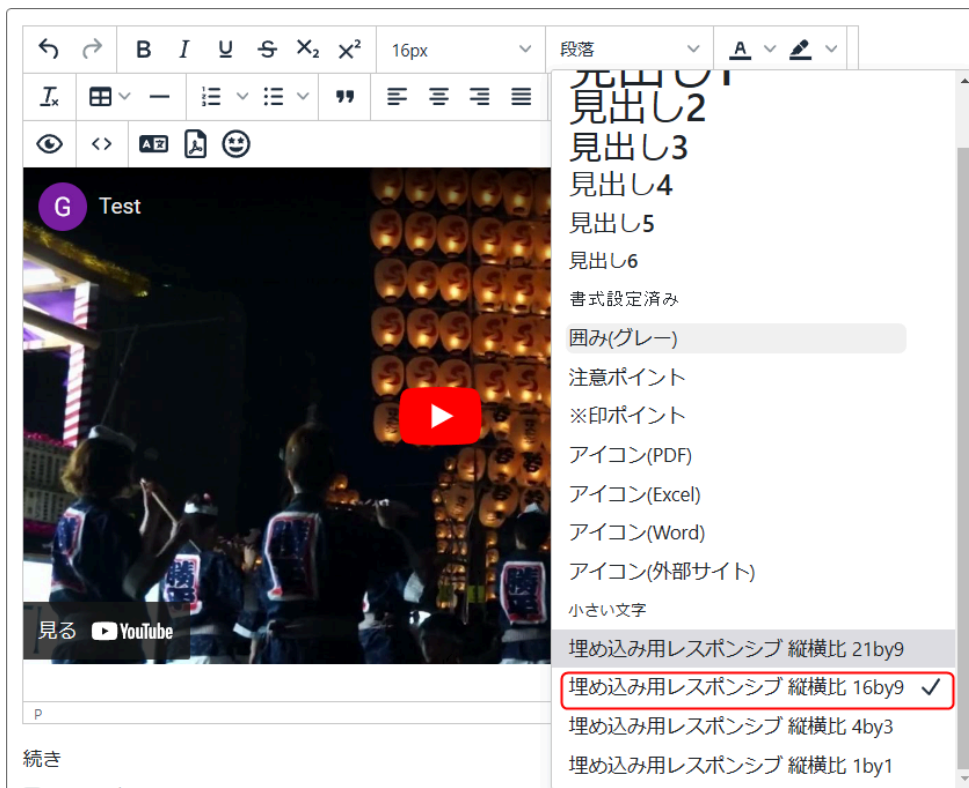
現在、カーソルは画面の動画の終わりに来ています。

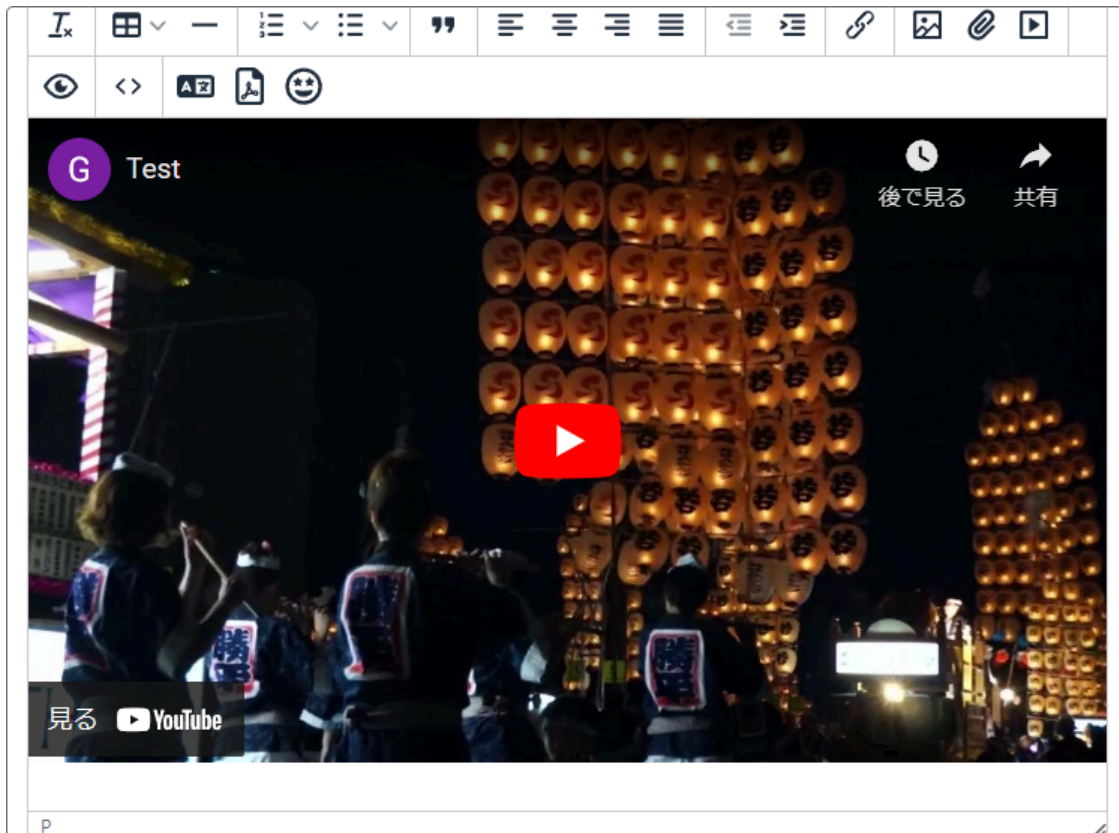


1. そのままの状態です左矢印キーを2回押下します。
※1回押下で動画を選択、2回押下で動画の前にカーソルが移動しているのを確認します。



2. カーソルが動画の前に移動したら、メニューから段落→埋め込み用レスポンス 16by9 を選択します。

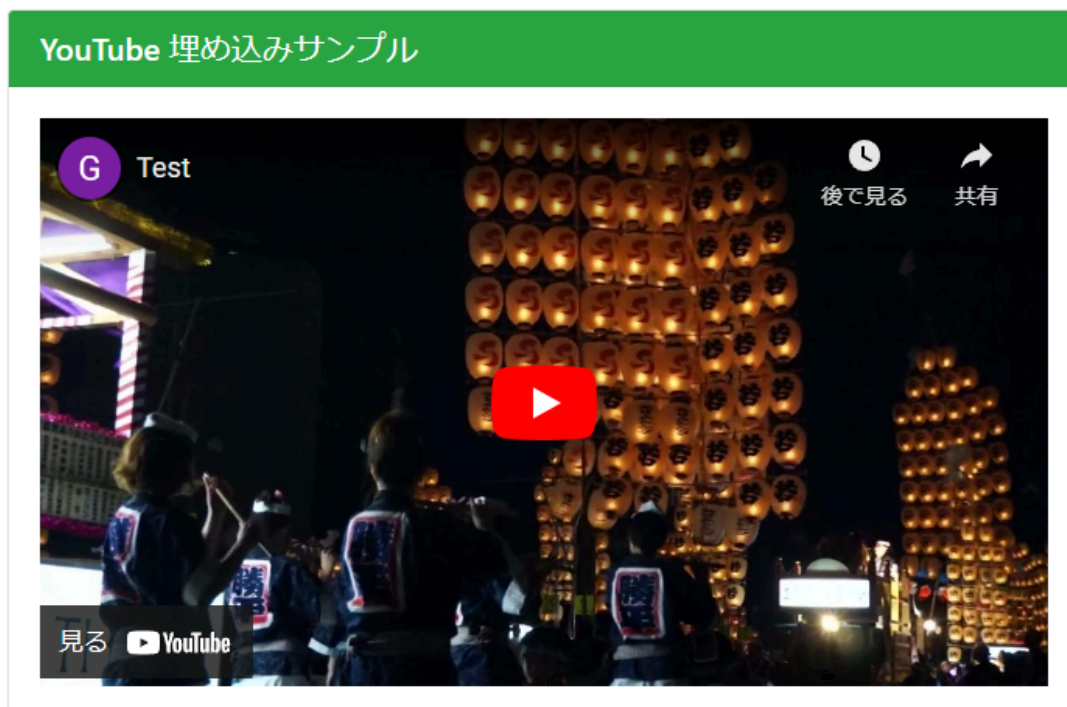




画像が枠一杯に表示されたら成功です。

以上でレスポンス対応の動画の貼り付けは完了です。
フレーム枠いっぱいに表示されているので、スマホやタブレットにした際にもフレーム枠に合わせたサイズになります。

また、フレーム枠自体の大きさを変えても追従しますので、その際にも有効です。



💡別の方法で設定するには

「2. HTMLで動画を貼り付けたあと「段落」設定で変更する」の方法設定した後、ソースコードを見ると動画のiframeの前に以下の一文が入っています。

```
<p class="embed-responsive embed-responsive-16by9"><iframe  
width="560" height="315" src="https://www.youtube.com/embed/〇〇〇〇〇"  
title="YouTube video player" frameborder="0" allow="accelerometer;  
autoplay; clipboard-write; encrypted-media; gyroscope; picture-in-picture;  
web-share" referrerpolicy="strict-origin-when-cross-origin"  
allowfullscreen="allowfullscreen"></iframe></p>
```

つまり、この動画をサイトに埋め込んだ後、HTML編集にして上記コードの赤文字部分を貼り付ければ同じように設定することができるという訳です。

2. （参考資料）HTMLの編集画面のみでレスポンスにする

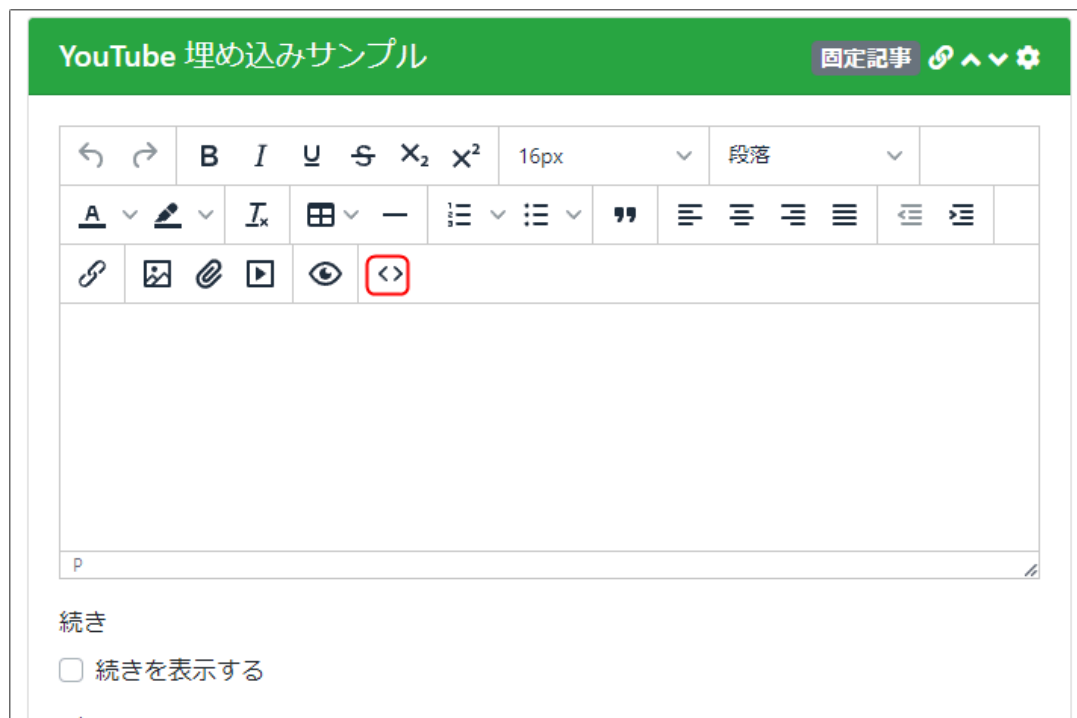
上の項目では、メニューを使って設定しましたが、HTMLタグのみでレスポンスにすることも可能です。

この場合は赤線の部分のみコピーして、以下のHTMLタグ内に貼り付けて使用します。

```
src="https://www.youtube.com/embed/JiSZDH0000?  
si=wi_9Y1_FtzJZOsZ0"
```

「src=」の後の「"」で囲まれた部分

1. 固定記事をサイト内に準備します。
編集モードにして「<>」を押下します。



2. 以下のタグをこの「ソースコード」欄にコピーします。

```
<div style="position: relative; padding-bottom: 56.25%;"><iframe
style="position: absolute; top: 0; left: 0; width: 100%; height: 100%;" src="
「ここにさきほどのURLを貼り付けます」" frameborder="0"
allow="autoplay;
encrypted-media; gyroscope; picture-in-picture"
allowfullscreen="allowfullscreen">
```

ソースコード

<div style="position: relative; padding-bottom: 56.25%;"><iframe style="position: absolute; top: 0; left: 0; width: 100%; height: 100%;" src="https://www.youtube.com/embed/JiSZI_____WDDGcrOCrEVQ67B" frameborder="0" allow="autoplay; encrypted-media; gyroscope; picture-in-picture" allowfullscreen="allowfullscreen"></iframe></div>

黄色い枠の部分には、先ほど YouTube のコードから取得したURLを貼り付けます。準備ができたなら、「保存」を押下します。

3. フレーム枠いっぱい動画が表示されていたら「変更確定」で決定します。

